

平成 23 年度 総務部 経営計画書



部署名	総務部				
役職・氏名	部長 福間 和明				
総務部 経営方針					
<p>部の使命 私たち総務部は、総合計画に掲げる「人と自然が織りなす しあわせ実感都市 瀬戸内」の将来像に向かい、高度化・多様化する住民ニーズにこたえられる人材を育成し、市民と協働による「安全・安心」なまちづくりを進めるとともに、公正で開かれた市政運営に努めます。</p>					
<p>部の基本方針 透明で開かれた市役所があるまちを目指して、市長、副市長、教育長及び職員の倫理条例を制定します。また個別外部監査を行い政策に反映します。 市民ニーズにこたえる市役所があるまちを目指して、業務改善、職場環境改善に取り組めます。 防災意識の高いまちを目指して、市民の防災意識の啓発を行うとともに、自主防災組織の育成に努めます。 便利な情報ネットワークがあるまちを目指して、電子入札制度を導入していきます。</p>					
平成 23 年度 部のスローガン			「デザインした未来をみつめて」		
部署内経営資源					
構成人員	正職員	臨時職員等	計	当初予算 (うち人件費)	一般会計 715,067 千円 (188,622) 千円
	27 人	3 人	30 人		

総務部 重点事項					
重点事項	具体的な取組内容	成果目標	進捗状況	達成状況	
1	市長、職員の倫理条例の制定	市長、副市長、教育長及び職員が市民全体の奉仕者として、自ら守るべき倫理基準を定め、市政に対する信頼に応えるとともに、公正で開かれた市政運営に努めます。	6月議会に条例案を提出、職員に対しては、研修等により、条例の内容、意義について周知する。		
2	業務改善、職場環境改善	業務時間管理を活用し、業務時間の配分を再確認することにより業務改善に取り組む。また、文書管理(共有フォルダ含む)ルールを策定し、情報の共有化を図るとともに、執務環境の改善、事務効率の改善を進めます。	5月に業務時間管理シートを活用した業務改善について課長級を対象に研修を行うとともに、今年度中に文書管理のルールを策定し執務室、文書庫の整理を行う。		
3	防災意識の啓発	東日本大震災を教訓とし、市民に防災意識の啓発を行うとともに、災害時要援護者避難支援の取り組みを通じ、自主防災組織の育成を図ります。	東南海、南海地震を想定した防災意識の啓発を行う。また、6月から民生委員、児童委員を通じて災害時要援護者の登録を行うとともに、防災ワークショップを開催する。		
4	電子入札制度の導入	本格運用に向けての事前準備として、導入のお知らせや手続きの周知を行います。その後、受注者向けの操作説明会を開催し、模擬入札を実施します。	6月に電子入札導入のお知らせを行い、2月に模擬入札を実施する。		
5	個別外部監査の実施	個別外部監査制度の要綱等を整備し、外部監査委員の選定後、市長等の監査依頼を受け、外部監査を実施します。	外部監査を実施し、年度内に監査結果を公表するとともに、政策に反映する。		

